

池原 昭治

さやまの今本

第126話



歯痛止めの金山さま
 奥富地区の上奥富、梶屋
 というところの道端に金
 山さまといひます小さな
 お社があります。
 昔のお話です。淵端の方
 に老夫婦とかわいい孫娘が
 住んでおりました。孫娘は
 かわいがられすぎたせいか
 毎日甘いものばかり食べて
 おったそつです。とつとつ
 虫歯ができました。ばあち
 ゃん歯が痛いよ」と泣い
 ておったそつです。おばあ

さんはしかたがねえひと
 つ評判の金山さまにいくべ
 えか」と言い、おじいさんは
 「じゃあ、金山さまの周りに
 あるハチス蓮の花をとつ
 て、それに針を通してお願
 いするとよかんべえ」と言
 いました。
 さつそくおばあさんは孫
 娘を連れて金山さまへ出か
 けて行き、ハチスの花に針
 を通して、三・七・さんじち
 の21日間、熱心に願掛けを
 しました。
 すると不思議にも、あん

なに痛がっ
 ていました
 孫娘の歯痛
 がケロリと
 治つてしまいました。無事
 に治りました場合はハチス
 の花に通した針を取り除く
 のだそつです。お礼には、金
 具で作った鳥居が置かれて
 いたといひます。
 金山さまは、「トンテンカ
 ン」と金属をたたき、色々な
 器具を作る鍛冶屋の職人さ
 んたちの守り神だといわれ
 ております。



市の木 / 茶の木

狭山茶は鎌倉・室町時代から銘園5
 場の一つとして名声をうたわれ、市
 民が愛着を持ちつづけているところ
 から、市の木として決まりました。

狭山が発祥の地

童句

童句は、自分が童心に帰つて詠
 む俳句です。狭山市童句研究会の
 選による作品を掲載しています。

往診の白衣の先生 赤い羽根 芝田 恵美子
 寝ころべば 暖かそうな 草紅葉 高橋 千恵子
 紫のビーズころころ 式部の実 清野 綾子
 街なかで 柿も熟れてる 園芸店 掘込 幸子
 本好きになれと説く祖父 秋灯下 広沢 一岐
 大根万本 霜つきあげて せいくらべ

創始者 土家由岐雄

何かな？ 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。

締切り11月30日(水・当日消印有効)

10月10日号の答え

10ページ・ひと・まち写真館の「レクチャーコンサート」の写真でした。



表紙の写真

10月15・16日(土・日) 笹井の白鬚神社の祭礼で
 笹井豊年足踊りが奉納されました。足踊りは、演者
 が仰向けになり、両足を高くあげ、ヒョットコとオ
 カメの面をつけて演じる珍しいものです。今年は3
 年に一度の山車をひく年。子ども達のお囃子も披
 露され、笛や太鼓の音色が町内に鳴り響きました。



狭山市公式モバイルサイトのQRコード
 QRコードに対応した携帯電話で読み取ると
 公式モバイルサイトへ簡単にアクセスできます